

## 中国社会科学学会 2011 年度 10 月例会のお知らせ

このたび本学会と（財）東方学会の共催で、北京大学教授王中江氏をお迎えし、講演会を開くことになりました。会員のみなさまのご参加を歓迎します。

日 時：10月29日（土）午後2時～5時

場 所：東京大学駒場キャンパス 18号館 4階会議室（コラボレーションルーム3）  
（井の頭線駒場東大前駅下車徒歩5分）

講演者：王中江（北京大学哲学系・教授）

題 目：中国出土文献と古代思想世界の新発見

言 語：中国語（日本語通訳付）。

司 会：池田知久（大東文化大学教授）

入場料：無料

### 講演要旨

出土文献の中には、東周・秦漢の思想史関係の文献がかなり多い。それらが中国古代思想・文化の研究にもたらす変化・意義は、ますます明らかになってきたし、また明らかになりつつある。中国古代思想史に従事する研究者は、これらの文献に対してさまざまな方法を用いて多くの側面・角度から専門的・個別的な検討を進め、強弱、程度の差こそあれ、この点を説明している。

今回の報告では、既存の研究に基づきつつより広い視野に立って、宇宙生成論・信仰の変化・精神の内面化および公共理性などの諸分野をめぐって、若干の具体的な例証により、中国出土文献が古代思想世界にもたらす多くの新認識・新発見を全体的に示したい。

### 講師紹介

王中江氏は、中国、北京大学哲学系の教授。1957年の生まれ、現在54歳。専攻は中国思想史。主著には、『嚴復』（台湾東大出版公司、1997年）、『道家形而上学』（上海文化出版社、2001年）、『進化主義在中国』（首都師範大学出版社、2002年）、『視域変化中的中国人文和思想世界』（中州古籍出版社、2005年）、『簡帛文明与古代思想史世界』（北京大学出版社、2011年）がある。日本学術振興会の外国人招聘研究者として2011年10月20日～12月18日の間、日本（大東文化大学）に滞在中。

以上